

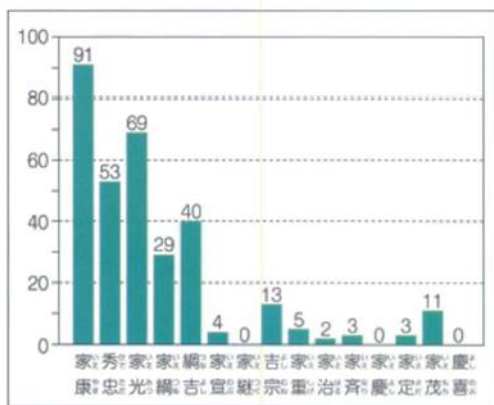
18世紀始めから19世紀中ごろ、江戸幕府は^{ぼくふ}財政を^た建て直^{かいかく}すための改革を行います。

^{しょうとく}徳^ちの治(旗本・政治学者の^{あらいはくせき}新井白石。1709年)→^{きょうほう}享^{かいかく}保の改革(第8代将軍徳川^{よしむね}吉宗。1716年)→^{たぬま}田^{めい}沼^{つぐ}意^{かいかく}次の改革(老中^{たぬまおきつぐ}田沼意次。1772年)→^{かんせい}寛^{かいかく}政の改革(老中^{ろうじゅうまつたけのぶ}松平定信。1787年)→^{てんぽう}天^{かいかく}保の改革(老中^{ろうじゅうみずのたかくに}水野忠邦。1841年)と続く改革です。

これらを^{しょうきやうた}正^{かんてん}享^{かいかく}田^{かいかく}寛^{かいかく}天の改革と覚えます。

徳川綱吉と学問の発達

1680年、^{とくがわい}徳川家^{よんなん}光の四男の(1…人名)が5代将軍になり、1687年に犬などの動物を^{きょくたん}極端に^{ほご}保護する(2…?令)を制定しています。後継ぎに恵まれなかった5代将軍が「生き物を大事にすれば子どもが授かる」と言われて出したといわれています。犬が田畑を荒らしたり人に^{きがい}危害を加えたりしても、殺したり^{いた}痛めつけたりできなくなったため、人々の^{ふまん}不満は強くなり、この将軍は^{いぬく}犬公方ともよばれています。しかし、このことがあってからは、世の人々の間に命を大切に^{めい}する価値観が芽生えています。とくに、それまでの武士たちの間には、^{いくさ}戦が長く続いたため^{ひと}ヒトの命を軽く見る^{きふう}気風があったのです。



江戸時代初めには、^{ぼくふ}幕府の政治^{きほん}基盤を^{たし}確かなものにするために、力で支配する政治が行われていました。^{ぼくふ}幕府の方針に従わない大名は、^{りやうち}領地の取り上げや配置がえによって^{しよばん}厳しく処分されました。その結果、3代将軍徳川家光のころまでは、^{ぼくふ}幕府の力が強まる一方で、職を失った武士たちが^{ろうにん}浪人となって、^{ちあん}町の治安が悪化しました。そして、4代将軍徳川家綱のころから、^{れいせつ}学問や^{おも}礼節を重んじる政治に変わっています。

湯島聖堂にある孔子像



また、^{ぼくふ}幕府の学問とされたのが^{じゆがく}儒学の一派の(3…?学)です。

当時のしきたりでは、^{ちい}女性の地位は男性よりも低いものとされ、^{おつと}女性は父や夫・男の子どもに従うことも求められました。鎌倉時代は^{ほうじやうまさこ}北条政子に見られるように、^{せい}夫婦で別な姓を名乗り、^{ちが}女性でも後を継ぐことができる^{たいとう}対等の関係にあったところと大きな違いです。

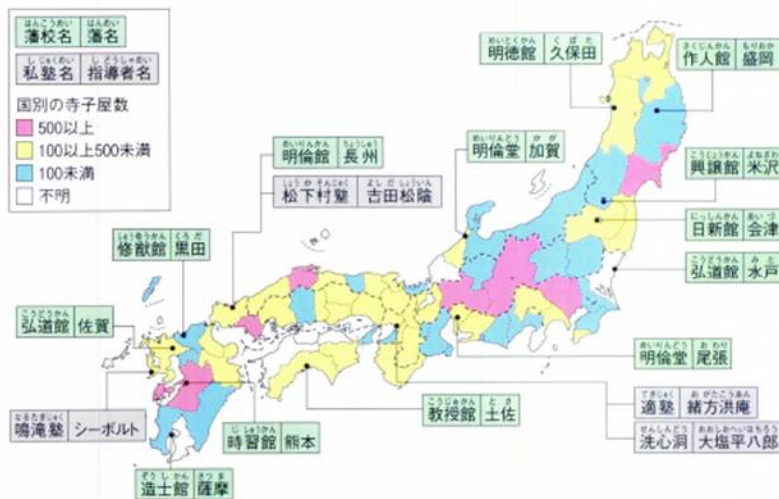
なぜ、^{しゆしがく}朱子学が^{ぼくふ}幕府の学問としたかを答えなさい。…(記述1)

また、^{いえやす}家康が^{はやしらざん}林羅山(学者)をとり立てたため、^{はやしらざん}林羅山の弟子たちが^{だいたい}代々に^{しゆしがく}朱子学の指導をしています。^{じゆがく}儒学が日本に伝わってきたのは4~5世紀です。『日本書紀』にも、^{にほんしよき}儒学は^{じんとく}仁徳天皇(大仙古墳)の代に^{だいせん}百濟から^{べくちえ}論語をもつて渡来したと書かれているようです。また、^{かんい}聖徳太子の冠位十二階の名称や^{めいしやう}憲法十七条の条文から、^{ちやうてい}当時の朝廷でも^{じゆがく}儒学の教えが^{こうぎ}講義されたであろうと^{さつ}察することができます。こうしたことから、^{はん}各藩は^{はんこう}藩校を開いて^{けらい}家来たちに^{じゆがく}儒学を学ばせています。右は綱吉がたてた^{ゆしま}湯島の^{せいどう}聖堂(東京都文京区近くに^{ゆしまてんじん}湯島天神

がある)での^{こうぎ}講義のようすです。また、^{じゆがく}儒学とともに^{つなよし}歴史の研究も盛んになり、^{みと}水戸藩主^{はんしゆ}徳川光圀(水戸^{こうもん}黄門)の命(命令)で「^{だいほんし}大日本史」という歴史書が^{へん}編さんされています。



全397巻からなり、^{じんむ}神武天皇から^{ごこまつ}後小松天皇までの歴史を^{かんぶん}漢文で^{きじゆつ}記述してあり、完成は^{まつき}明治末期のことです。^{みつくに}徳川光圀が^{こうしつ}皇室を重んずる道^{おも}を説いた^{みとがく}水戸学から始まっています。



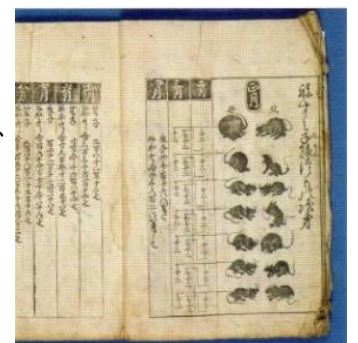
江戸時代のおもな教育機関



これらの藩校や私塾などは、明治時代以降に教育が発展する土台となりました。

庶民の暮らし

庶民の子どもたちは、(4…漢字で)とよばれた^{きょういくきかん}教育機関で「読み・書き・そろばん」を習っていました。先生は職をなくした武士などの浪人や神主・僧などです。6~13歳までの生徒たち20~30人の指導にあたるというのが一般的だったようです。やがて、19世紀前半には1万5千人にまで普及し、当時の世界の都市の中でも、江戸は高い教育水準だったといわれています。こうして字を読める人が増えたおかげで、本がたくさん読まれるようになったのです。また、生活にゆとりが出てくると、町人たちがいろいろな娯楽を楽しむようになります。落語や(5…日本の国技)を楽しんだり、芝居小屋へ出かけたりしています。三重県の^{いせじんぐう}神宮(伊勢神宮のこと。最高位の神社)などの有名な寺社にお参りする旅もさかんになり、旅を題材にした浮世絵が描かれた旅行案内書がつくられています。



そして、元旦の^{がんたん}雑煮や^{せつぶん}節分・ひな祭り・彼岸・端午の節句のこいのぼり・七夕・盆踊り・子どもの健やかな成長を願い神社に詣でる(6…漢字で)など、現在に受けつがれている行事が全国に広まっています。

新しい学問の動き

さらに、『万葉集』や『古事記』などを研究して、^{じゆきょう}儒教や^{ぶくわう}仏教が伝わる前の日本人のものの考え方を明らかにしようとした(7…?学)もおこっています。これを大成した人物が「古事記伝」などの書物を著した伊勢国(三重県)の医者(8…人物名)です。これらは、江戸時代末期の思想に大きな影響をあたえます。武士中心から天皇中心の政治へと変わるきっかけになった書物です。



幕府の政治改革

徳川綱吉は政治や学問には熱心でしたが、ぜいたくな生活をしたため幕府の財政が苦しくなりました。さらに、幕府が収入をふやそうとして質の悪い貨幣をつくったこともあって物価が上がり人々の生活も苦しくなりました。



正徳の治(1709~1716年)…正享田寛天の改革

白石じゃ、1709で失敗じゃ

1709年、儒学者の(9…人名)が6代家宣と7代家継に仕え、(10…?の治)という政治改革を行っています。



(9)は生類憐みの令を廃止し、貨幣の質を良くして物価や幕府の財政の安定に努めました。効果がなかったようです。さらに、1715年には、(11…輸出品)の流出を防ぐため、長崎での貿易を制限しましたが、これも効果がなく失敗に終わっています。(9)が行ったこうした政治を文治政治といい、17世紀から18世紀初めの第5代将軍の時代が(12…元号)時代です。

享保の改革(1716~1745年)…正享田寛天の改革

享保も1716いろ、でも吉とする…by吉宗だから

1716年、もと(13…今の和歌山県)の藩主の8代将軍徳川吉宗が(14…?の改革)を行い、財政の立て直しに取り組みました。吉宗は米の価格にとくに気を使ったため、米将軍ともよばれます。吉宗が米の価格にそれほど気を使ったわけを答えなさい。…(記述2) また、農民の年貢を今までの四公六民(4が幕府の取り分)から五公五民に引き上げて、年貢のとりたてを過去の取れ高によって決める定免制に変えます。不作やききんでも年貢が減額しないため、幕府の財政は安定しますが、農民の負担は増えました。



さらに、吉宗は新田開発を積極的に行なって耕地を増やし、産業を発展させるためにキリスト教に関係のない漢文に訳された洋書の輸入を許可しています。すると、これがきっかけになり、ヨーロッパの学問を研究する(15…?学)がおこります。これの基礎を築いた人物が(16…漢字)です。この人物は、ききんに備えた作物のサツマイモの栽培を広めたために甘藷(サツマイモのこと)先生ともよばれています。



西洋の解剖図(左)と中国の解剖図(右)

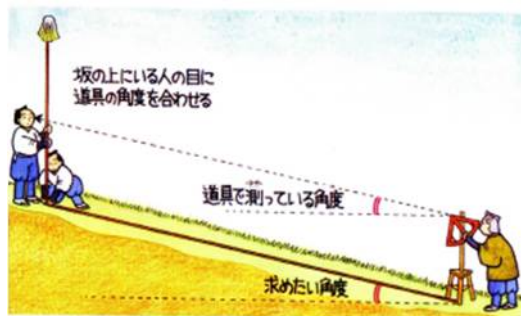
さらに、青木昆陽の弟子で、中津藩(大分県)の藩医(医者)の(17…人物名)と、小浜藩(福井県)の藩医の子の(18…人物名)ら7名の蘭学者が、オランダ語の解剖書の『(19…原書の名をカタカナで)』を翻訳し、『(20…書物名)』を出版しています。これが日本で初めての西洋医学の翻訳書です。辞書も無く、4年間の苦心の末に完成したそうです。

(18)は、このときの苦勞を「蘭学事始」という書物の中で「艚や舵のない船で大海に乗り出したようなもの」と表現しています。

また、長崎では、オランダ商館の医師として来日した(21…ドイツ人)が(22…?塾)を開き、高野長英ら多くの門弟を育てています。そのため、日本の医学界で初めはドイツ語が用いられていました。



しかし、この人物は、「大日本沿海輿地全図」を祖国に持ち帰ろうとして、幕府から国外追放の処分を受けています。



坂の傾きを測る道具(左)と測量のようす(下)土地の起伏を知るために、斜面の角度を測りました。

「大日本沿海輿地全図」とは、現在の千葉県佐原出身の(23…右の人物名)が、17年の歳月をかけて日本全国を測量して作りあげた日本地図のことです。こうした学問の研究が進むにつれ、世界の情勢に目を向ける人々があらわれてきます。



伊能忠敬(1745-1818年)

1721年、吉宗が庶民の意見を聞くための投書箱(24…漢字で?箱)を設置します。これにより、町方の消防組織の町火消しや、貧困者のための病院の小石川養生所(東京都文京区)がつくられています。



自安箱

夕飯が17(稲)2ふ2つは上米のせい?…by吉宗腹へった

(25…年) 吉宗が大名に米を出させた(26)の代わりに、参勤交代のときの江戸での滞在期間を1年から半年にちぢめるという(26)の制(令)を出します。翌年には、身分の低いものでも高い役職につくことができる足高の制を出しています。

公事方は1で742は厳しい掟。…by吉宗

(27…年) 吉宗が裁判の基準となる(28…漢字で?書)を出し、裁判の公正化を図りました。しかし、享保の大きなきんがおきて失敗しています。

田沼意次の政治(1772~1786年)…正享田寛天の改革

1772年、(29…人名を漢字で)が老中になり、商人の力を利用して財政を立て直そうとします。商工業者の同業者組合の(30…漢字で、座と同じような独占販売のしくみ)を幕府や藩が公認する代わりに、莫加金という多額の税を商人たちに納めさせたのです。



このことで産業は活発になりましたが、大商人が利益を独占するようになったために批判が出ます。さらに、商人に資金を出させて千葉県の印旛沼や手賀沼を干拓して新田を増やそうとしましたが、利根川のはらんで失敗しています。さらに、(31)年には群馬県の(32…火山名)が噴火したため、作物が取れず、百姓一揆と打ちこわしが多発しています。浅間山、天明1(人)の783なり

百姓一揆と打ちこわし

1732年、徳川吉宗のときに**享保の大ききん**がおこり、農民による**反乱の(33…漢字で)**と、**町民による反乱の(34)**が多発しています。

江戸時代の農民も**重税**にあえいでいました。そのため、ひとたび**冷害**や**干害**などがおこると、たちまち**食糧**不足になります。

大ききの多くは、東北地方に起きた**冷害**が原因のようです。

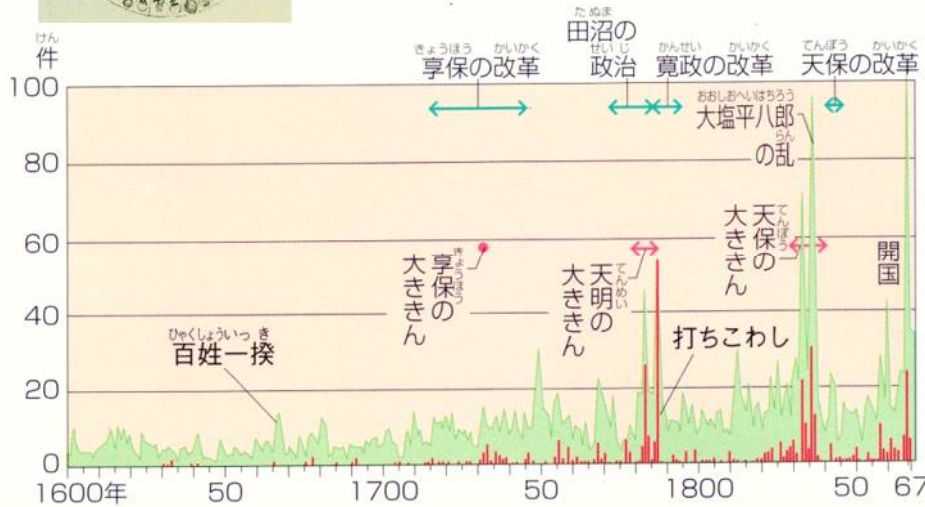
また、財政が苦しくなった幕府や大名たちが**年貢**を引き上げようとしたため、農民たちが**農具**や**竹やり**を持って**一揆**をおこすようになったのです。

こうした江戸時代の一揆は**百姓一揆**といい、室町時代までの**土一揆**と区別します。さらに、都市部では、米の**買占め**や**売りおしめ**をする商人の家を**貧しい人々**がおそ**う打ちこわし**が多発しています。

1782年～1787年(**田沼意次の時代**)には、東北地方を中心とした**(35…元号。下のグラフから読み取る)**の大ききんがおそい、**百姓一揆**と**打ちこわし**がさらに増え、それが原因で老中の**田沼意次**は**失脚**しています。



左は、百姓一揆の参加者たちが**円形**に署名した**(36)**といいます。なぜ、**円形**に署名がしてあるのかを**2つの理由**で説明しなさい。…(記述 3)



こうした**百姓一揆**と**打ちこわし**は、江戸時代に約**(37…1200 2200 3200 4200 から選ぶ)**件もおきています。

寛政の改革(1787～1793年)…正享田**寛天**の改革

定信は**改革**やりすぎ**1787**

1787年、11代**將軍徳川家斉**のもとで老中となった**(38…人名)**が**(39…?の改革)**に取り組みます。この人物は吉宗の孫で**(40…今の福島県)**藩の藩主でした。吉宗の**享保の改革**を手本に**儉約令**や、農村を立て直すために農民が都市に**稼ぎ**にくる**出稼ぎ**を**禁止**し、大ききに備えて大名に米をたくわえさせた**(41…漢字で?の制)**などを出して**政治改革**に取り組みます。



定信の借金消えんれ、**1789**

学問が朱子学だけとは**1790**…なあ、定信はん

(42)年には、旗本や御家人の借金を帳消しにする(43…?令。ひらがな可)を出します。こうした借金を帳消しにする令は、鎌倉時代の(44…?令)と室町時代の**正長の土一揆**のときにも出されています。

しかし、いずれもかえって武士の生活は苦しくなる結果になっています。

翌年には(45…**儒教**の一派)以外の学問は認めないとした**寛政異学の禁**を出します。このときの政治を**文武政治**といえます。しかし、反感を買って失敗し、松平定信はわずか7年ほどで老中を辞めさせられています。

また、**松平定信**が老中を退いたあとに家斉がはでな生活をしたため、**財政**がさらに悪化したようです。

狂歌
 ○白河の 清きに魚の 住みかねて もとの濁りの 田沼恋しき
 この狂歌が言いたいことを説明しなさい。…(記述4)
 ○世の中に 蚊ほどうるさきものはなし **ぶんぶ(文武)**というて 夜もねられず

また、現在の山形県にあった**米沢藩**は、領地を大きく減らされた**財政難**になっていました。18世紀後半に藩主になった**上杉治憲(鷹山)**は、**養蚕業**や**製糸業**をさかんにし、**絹織物**を藩の特産物にすることで収入を増やそうとしています。このような改革は、同じように**財政**が苦しい他の藩の手本になっています。

天保の改革(1841~1843年) …正享田**寛天**の改革

忠邦は**天保**の仲間と**酒飲み**、**1841**

1841年、老中(46…人名を漢字で)が(47…?の改革)にとりかかり、**株仲間**を解散させます。

しかし、経済は混乱してしまいます。1843年には米の**収穫**を回復させようとして、**農民**を

国に帰すための(48…?令)や、**旗本**の領地を取り上げて**替地**を命じた(49…?令)を出しますが、**大名**や**旗本**の**反発**は強く、すぐにこの令は撤回することになり、それが原因で(46)は**失脚**し、**改革**も**失敗**しています。



江戸幕府のおとろえ

幕府には**1837****大塩平八郎**

(50)年、**徳川家慶**が12代**将軍**になり、**水野忠邦**(1841年**天保**の改革)が老中についた年に、

大阪で(51…?の乱)がおきます。この人物は**大阪町奉行**所の**元与力**という役人で**陽明学者**です。

(52…元号)の**大ききん**で苦しんでいる人々を救おうと、自分が勤めていた幕府に対して**反乱**をおこしたのです。



近ごろ、多くの**民衆**が苦しんでいるのは、**政治**をするものが、**民**をいつくしむ**気持ち**を忘れていたからだ。たび重なる**天災**は、**天**からくださった**戒め**であるのに、**あいかわらず**、その**小人**(ろくなことをしない人)どもが**政治**をしている。……だからこそわれらは、**役人**や**大商人**を倒し、**金銀・米**などを**貧民**に分け与えようとしているのだ。

この乱は1日でしずめられましたが、大きな**驚き**が**全国**に走ります。この**反乱**が幕府をおどろかせた理由を**反乱**のおこった地名を考えて答えなさい。…(記述5)

また、この**反乱**が**歴史上**で意味しているものと考えて答えなさい。…(記述6)

まとめ…江戸時代の^{せいじかいかく}政治改革について答えなさい。

	^{かいかく} 改革の名…記号で選ぶ		人物名…記号で選ぶ		関連することがら…記号で選ぶ	
1709年	(53)	ア. ^{かんせい} 寛政の改革 イ. ^{きやうほう} 享保の改革 ウ. ^{しやうとく} 正徳の治 エ. ^{てんぽう} 天保の改革	(54)	ア. ^{よしむね} 徳川吉宗	(55)	ア. ^{かぶなかま こうにん} 株仲間を公認し商人の力を利用した改革
1716年	(56)		(57)	イ. ^{まつだいらさだのぶ} 松平定信	(58)	イ. 株仲間の解散・人返し令・ ^{あげちれい} 上地令
1772年	---		(59)	ウ. ^{たぬまおきつぐ} 田沼意次	(60)	ウ. ^{ねんぐ ごこうごみん} 年貢を五公五民に・ ^{あげまい} 上米の制
1787年	(61)		(62)	エ. ^{あらいはくせき} 新井白石	(63)	エ. ^{かこいまい せい きえんれい} 囲米の制・棄捐令
1839年	(64)		(65)	オ. ^{みずのただくに} 水野忠邦	(66)	オ. 長崎での貿易を制限